

# マイバス意識の必要性

～基調講演～

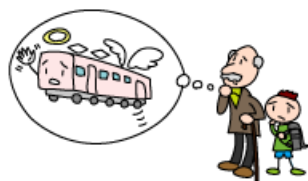
# みんなが住み続ける活力あるまちのイメージ

## 移動しにくいまち

クルマを持たない人々が、  
移動しにくいため、  
まちに出る機会が減少  
し、生活しにくい



利用者が少ないため、  
公共交通のサービスが  
減少し、移動手段が  
限られる



移動しにくいため、まちを離れる人が多数

このままだと...

活力が失われ、元気がないまち

## 公共交通で移動しやすいまち

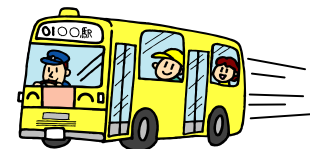
クルマを持たない人々  
も安心して移動ができ、  
まちに活気が溢れる



高齢者も  
元気で  
まちに  
出かける  
ことができる



環境にもやさしい



公共交通が便利だと、よいことが色々...

そうならば...

みんなが住み続ける活力あるまち

# 公共交通の意義～公共交通への期待

## ○欧米で進む公共交通重視

- 魅力ある(「にぎわい」のある)場所がない
- 歩いて鑑賞するに堪えない(クルマから眺めているだけではまちは分からない)

## ○「公共交通が維持できない」

＝「にぎわいが無い」

＝「個性が無い」

＝「サバイバルに勝てない(まちが衰退する)」

# 誰が地域の交通を支えるの？

地域の交通とは

「地域の**ための**、**地域による**公共交通」

地域のための公共交通を求める声は大きいものの、  
地域による公共交通という動きは小さい。



- 「市役所」が取り組むこともひとつの方法であるが、地域が努力することも重要である。
- 地域の状況を知ることが、自分も地域の交通を支えていこうという気持ちを喚起する。

# 住民参加の必要性

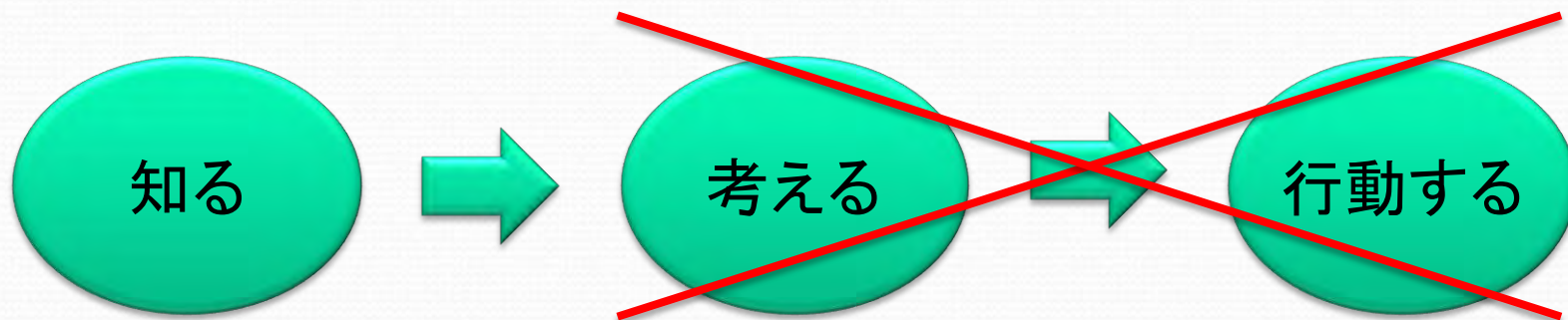
- 身の丈にあった公共交通
- それぞれの地区に**適材適所**な地域の交通



一番身近に感じる住民の方が計画を行うこと  
本当に便利なもの、必要なものを作ることができる  
無駄が省ける可能性。

お願いして作る公共交通から自身が作り上げる公共交通を  
目指して、マイバス意識を住民で共有することが大事

# マイバス意識を高めるためには ～「知る」ことの意味



- 「知る」がさまたげられる(知らない)と、「行動する」につながらない。
- また、誤解してても、やはり、「行動する」につながらない。



正しい情報を、わかりやすい形で伝えることが大事



情報として「知る」だけでなく、「経験」として「知る」ことがより有効

# 「知って」もらい「経験して」もらうために



## ○知られていないバス

- どこから乗れる？
- どこに行くことができる？
- 何時にバスは走ってくる？

## ○「知り」のってみようと思える 自分の情報の乗った地図に

- 自分の近くのバス停の時刻  
が貼れる

## ○身近においてもらえる地図に

- 壁や冷蔵庫に貼れる

# 楽しく情報を伝えるには



第7回

駐車場の心配をしなくていいね



## バス! のってスタンプラリー♪ 枚方・交野 桜めぐり

# 4/11

9時 岡東中央公園集合 枚方市役所横 枚方市駅下車

雨天決行 <イベント内容> ステキな景品プレゼント

■ バスとまちのお話し  
大阪大学大学院准教授 松村暢彦氏

■ 路線バスで桜の名所めぐり  
獲得ポイント数で抽選ができます  
小学生以下は大人の同伴が必要です。徒歩でも移動もあります。

定員 150名 参加無料  
別途交通費が必要



京阪バス 1day チケットの  
ご利用が便利です!  
大人 500円 小児 250円

お花見にはバス・電車でいきましょう。  
バス案内所等で「枚方・交野 桜めぐりマップ」を配布中

<お申込み・お問い合わせ>  
NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議  
TEL/FAX (072)847-2286  
E-Mail: jimukyoku@hirakata-kankyoku.net  
枚方市土木総務課 TEL(072) 841-1221 (代)

<ポイント>

百済寺跡公園 水面廻廊 桜公園 以楽公園 大阪府警察学校 傍示川  
住吉神社 山野酒造(株) 免除川 星田妙見宮 妙見川原 機物神社

主催: NPO 法人 ひらかた環境ネットワーク会議  
共催: 枚方市 後援: 近畿運輸局、大阪府  
協力: 京阪バス、京阪電気鉄道、江崎グリコ、交野市  
NPO 法人 枚方文化観光協会 (枚方観光ボランティアガイド)  
交野市星のまち観光協会 (交野市観光ボランティアガイド)

- ・ 経験してもらおう(バスに乗ってみる)ことも大事
- ・ 地域の人も参加する人も楽しむことが継続できること
- ・ 皆さんが楽しめる利用促進とは何かを考える